

支援対象団体	事業名	組織基盤強化事業☒
	事業名（副）	
	団体名	NPO 法人アコア☒

I.団体の社会的役割

(1)団体の目的

当団体は何らかの暴力・暴力の影響で困難を抱えた女性や障がい者に対し、心身の回復と自立支援に関する事業を行っている。トラウマのセルフケアと健全なコミュニケーションスキルの習得支援のため、当事者同士の自主的な相互支援、エンパワメントが発現しやすい居場所（環境）づくりを行っている。全国でも希少な女性限定の事業所の運営に挑戦中である。☒

(2)団体の概要・活動・業務

自助グループ活動（DV・虐待・摂食障害・性暴力性虐待）、ひとり親支援、DV相談（同行支援、一時緊急避難の受け入れ）、心理勉強会、瞑想会、アートイベント、スタッフ向け研修、講演会、動画作成、障害者総合支援法に基づく自立訓練（生活訓練）事業「女性のための福祉サービス事業所『アミーガ』」運営 ☒

IV.事業設計

(1)中長期アウトカム

回復した当事者が関係の担い手となり、
孤立や被害が再生産されない地域の関係基盤が形成されている

(2)短期アウトカム	100字	指標	100字	初期値/初期状態	100字
1. 福祉事業と自主事業が持続的に機能し、相互に事業を支える基盤が確立され、安定した運営が実現している		福祉：生活訓練・就労移行の定員充足率 自主：瞑想会／自助グループの定期開催回数 接続：自主事業→福祉事業への接続件数		生活訓練50%/就労移行0% 瞑想会：月1回/自助グループ月3回 接続件数：0（6月から開始）	
2 役割分担・判断基準・危機対応が共有されている		役割分担：業務分担表（役割分担表）の作成状況（0/1） 判断基準：判断基準資料の作成状況（0/1） 危機対応：危機対応フローの作成状況（0/1）		作成中 未着手 未着手	
3 月次収支管理と年間予算の運用が定着し、マンスリーサポーター制度が運用されている。		財源管理：月次収支の確認実施回数（月） 予算：事業別の年度予算の作成状況 寄付：マンスリー人数（人）		不定期 相談中 未着手	
(3)-3 アウトプット	100字	指標	100字	初期値/初期状態	
1-1. 多機能型事業所として両事業の受け入れ人数を増やす（生活訓練9名・就労移行11名、各定員の9割が埋まっている状態）		生活訓練・就労移行の在籍者数（人）		生活訓練：稼働約50% 就労訓練：未稼働	
1-2.アコアサロン（仮称）の運営 ～アミーガ・講座・瞑想会・自助グループへの接続の場～		開催回数（月）／参加者数（人）／接続件数（次プログラム参加）		計画中	

[illegible]

(3)-1 活動：資金支援	
1-1-1. 広報媒体の整備 HP/SNS更新強化 (就労移行支援開始の告知を含む)	47/200字
1-1-2. 紹介資料の整備 生活訓練・就労移行支援 それぞれのパンフ・チラシ作成	43/200字
1-1-3. 接続導線の整備 自主事業から福祉事業への回復段階に応じた移行フローの明確化	50/200字
1-1-4. 連携強化 福祉支援・医療・行政との紹介ルート形成	33/200字
1-1-5. 自立訓練プログラムの安定提供	22/200字
1-1-6. 就労移行支援プログラムの立ち上げと安定提供 ・キャリアコンサルティング・PCスキル・eラーニング ・キャバンターボディーワーク等の就労用専門プログラム提供 ・就職活動支援・ハローワーク連携 ・企業実習 ・就職後定着支援（6か月フォロー） ・ピアサポート体験（アコアの活動への参加を就労準備訓練として実施）	174/200字
1-1-7. 生活訓練から就労移行支援への内部連携・移行フローの整備 ・回復段階に応じてスムーズに移行できる体制 ・多機能型事業所としての一体的な支援計画の作成	92/200字
1-2-1. 告知（HP/SNS等）の強化	23/200字
1-2-2. 月1回開催（利用者・地域・一般参加者）	34/200字
1-2-3. 体験談・回復事例の共有	19/200字
1-2-4. 参加者へのフォローアップ	20/200字
1-2-5. アミーガ・各自主事業（講座・瞑想会・自助）への案内・接続	39/200字
1-2-6. 口コミ・紹介につなげる	19/200字
1-3-1. こころの回復講座・カリキュラムの作成・更新・定期開催（月1回程度）	46/200字
1-3-2. 瞑想会・定期開催・場の運営・発信・集客	29/200字
1-3-3. 自助グループ（ミーティング）・定期開催・ファシリテーターの確保・新規参加者への案内・接続	57/200字
1-3-4. 各自主事業からアミーガ・アコアサロンへの接続導線整備	36/200字
2-1-1. 就労移行支援スタッフの確保（就労支援員・生活支援員兼PC指導等）	40/200字
2-1-2. 講師・外部専門家の確保	19/200字
2-1-3. ボランティアの募集・育成・配置	22/200字
2-1-4. スタッフ・ボランティアの研修体制の整備	27/200字
2-1-5. 卒業生からピアサポーターとなる場を確保している	32/200字
2-2-1. 事務担当者（職員・非常勤）の確保と育成	28/200字
2-2-2. スタッフの業務分担表の作成	21/200字
2-2-3. 事務チェックリストの作成と運用	23/200字
2-2-4. 事務局MTGを月1実施する	20/200字

2-3-1.地域支援者・関係機関との定期的な情報交換	28/200字
2-3-2.ピアサポーターの育成プログラムの整備	26/200字
2-3-3.ファシリテーターができる人がある（自助グループ）	34/200字
3-1-1.定員充足率の把握と改善策の実施	24/200字
3-1-2.利用者の継続支援体制の強化	21/200字
3-1-3.行政・医療機関への福祉サービスの周知	26/200字
3-1-4.利用者からのフィードバックを運営に反映する	30/200字
3-1-5.報酬請求業務の正確な管理と加算の積極的な活用	34/200字
3-1-6.就労移行支援事業を軌道に乗せる	24/200字
3-2-1.寄付収益を実施する	16/200字
3-2-2.年度ごとの予算書を作成する	21/200字
3-2-3.資金が不足した際のアクションを想定	27/200字
3-2-4.自主事業の収支を定期的に見直す	24/200字
3-3-1.コングラントページの公開&運用（申込～お礼～活動報告の導線の確保）	44/200字
3-3-2.マンスリーサポーターの獲得（継続寄付を案内する）	35/200字
3-3-3.寄付チラシの作成	15/200字
3-3-4.卒業生へのアプローチ	17/200字
	0/200字
	0/200字
	0/200字
	0/200字
	0/200字
	0/200字
	0/200字

